

使える英語プロジェクト NEWS

(第18号)

使える英語プロジェクトの研究成果を
「英語を使うなにわっ子」育成プログラムに

「学んだ英語」を「使える英語」に



平成 23 年度から子どもたちが英語でコミュニケーションができるようになることをめざし、「使える英語プロジェクト」を実施してきました。このたび、その成果をまとめた冊子を作成し、8月末に各市町村教育委員会を通じて府内の小中学校に配付しました。

本プログラムは平成 24 年度に実施したワーキング会議での内容等を踏まえて、指導計画、指導のポイントや評価の在り方などを示した「理論編」と、実践研究校からいただいた授業のアイデアをとりまとめた「実践編」を柱として作成しています。

【特長】

- ・「理論編」「実践編」どちらからでも活用していただける構成となっていること
- ・「理論編」には、研修や教科会議等で活用できる「Work Sheet（ワークシート）」があること
- ・「実践編」には、「どのような場面で」「誰にむけて」発信するかを意識した実践を集めたこと

このプログラムを府内すべての小・中学校で活用していただき、学校で「学んだ英語」を実際に「使える英語」へと変容させるような授業づくりに役立てていただきたいと思います。

※「英語を使うなにわっ子プログラム」は、大阪府教育委員会ウェブサイトでもご覧いただけます。
(<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/erueigo/index.html>)

平成25年度 第1回 「使える英語プロジェクト」 ワーキング会議

ストップ・モーションによる授業分析

第1回「使える英語プロジェクト」ワーキング会議を7月23日（火）・31日（水）に開催しました。1日目（中学校英語科担当者及び市町村教育委員会担当指導主事対象）には約80名、2日目（小学校外国語活動担当者及び市町村教育委員会担当指導主事対象）には約120名の参加がありました。

中学校

☆ 授業の「ねらい」に沿う活動にするには ☆



7月23日に開催した中学校WG会議では、ビデオによる「ストップ・モーション方式」の授業研究について関西外国語大学 中嶋 洋一 教授から講義をしていただきました。

ある公立中学校1年生の授業を素材とし、ビデオを15分単位で区切り、観察の視点が異なる3つのグループ毎に、気づいたことや感じたことについて意見交流をしました。その後、グループの代表者から交流した意見のまとめを発表し、異なる視点での気づきを共有しました。また、中嶋先生からはテスト作成の視点についての話があり、授業での活動をどのような形でテストにつなげるべきなのかを学ぶことができました。

小学校

☆ 「考える」「創造する」のある授業にするには ☆



7月31日に開催した小学校WG会議では、大阪樟蔭女子大学 菅 正隆 教授から講義をしていただきました。前半は、「ストップモーション方式」の授業研究を行い、後半は「買い物場面」を想定したワークショップを行いました。

ワークショップは「Tシャツを買う」という場面設定でしたが、「もっとおもしろいものを買ってみよう」と条件をつけることで、「夢がほしい」「家がほしい」などさまざまな意見が参加者から出たこと、また、「そういうリクエストにうまく応えよう。」という課題を与えることで、対話の内容を考え、創造する機会を得たことなどを実感することができました。例文をただ覚えるのではなく、自分たちで話を創造することで、コミュニケーション活動が活発になることを学ぶことができました。

「ストップ・モーション方式」授業研究とは？

「ストップ・モーション方式」授業研究は、活動と活動のつながり、活動と指導目標とのつながり、活動とテストのつながりなどが見える手法です。あらかじめ録画した授業を、研修会参加者のリクエストによって途中で停止し、その都度ポイントについて授業者や講師に質問をしたり全体で協議をしたりします。

参加者を①「教師を見る」②「生徒を見る」③「教師の信念を見つける」の3グループに分けて、それぞれの視点で授業観察をすることもあります。

第2回ワーキング会議では、使える英語プロジェクトで活躍されている先生の授業ビデオを用いて、「ストップモーション方式」で授業研究をする予定です。

平成 25 年度「使える英語プロジェクト」に係る指導法研修について

「英語での面接方法」がよく分かる



8月21日(水)・22日(木)に「使える英語プロジェクト事業」にかかる指導法研修を開催しました。

昨年度同様、今年度も英語能力判定テストのうち中学3年生が対象となる面接テストについて、公益財団法人日本英語検定協会より制作部研究開発課アドバイザーの柳瀬和明氏を講師としてお招きし、実際の英検の面接に近い形での実施方法や評価方法についての研修を行いました。



参加者からは「生徒から英検の面接について聞かれた時にどのようにアドバイスをしたら良いか分かりませんでした。今回の研修に参加して内容などがよく分かったので、自信を持って生徒にアドバイスができるようになりました。参加してよかったです。」という感想があり、充実した研修となりました。

使える英語プロジェクト公開授業

・ 9月27日(金) 能勢町立天王小学校(5年) 5時間目

公開授業の概要はウェブサイト (<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/erueigo/index.html>)
をご覧ください。

編集後記

「英語を使うなにわっ子」育成プログラムが完成しました。これまでご指導いただいた学識の先生方に感謝するとともに、この間、WG会議に携わっていただいた市町村教育委員会指導主事の皆様、児童・生徒の「使える英語」のために授業をしていただいた実践研究校の先生方に、この場を借りて感謝申し上げます。

皆様のお力をお借りしなければ、このような成果をまとめることもできなかったと感じています。この成果をさらに広めていくために、今後ともご協力をいただければ幸いです。

子どもたちを「英語を使うなにわっ子」に育てるには授業をどのようにしていけばよいのかについて、これからも議論を深めていきたいです。